

# チャレンジデー 2015

Let's Try 15min

5月27日(水) 開催!!

まもなく スポーツ・運動を楽しむ 1日!

どなたでも! どんな運動でも! みなさんの参加・ご報告をお待ちしています

チャレンジデーとは、毎年5月の最終水曜日の午前0時から午後9時までの間に、町内で15分以上スポーツや運動した人の割合(参加率)を、対戦相手の他自治体と競うイベントです。東神楽町では、健康維持・体力増進へのきっかけづくり・まちづくりを目的に、2012年よりチャレンジデーに参加しています。

**めざせ金メダル!**

北海道 東神楽町 ひがしのかぐらまち	4回目	VS	新潟県 上富田町 かみくだまち	10回目
人口	10,245人		人口	15,476人

※金メダルは参加率55%以上 ※参考: 群馬県参加率50.5%

**主催イベントのご案内**

チャレンジデー当日、次のとおり運動の機会をご用意いたします。こちらもお気軽にご利用ください。(申込不要、時間までに会場にお越しください)

**おはよう! ラジオ体操**

1日の始まりにラジオ体操でリフレッシュ!

とき 6時30分~(15分程度)

ところ ①ふれあい交流館駐車場 ②総合体育館駐車場

参加される方は開始時間までに上記どちらかの会場にお越しください。

※雨天時は施設内で実施

**クリーンウォーク**

ゴミを拾いながらのウォーキングで街はきれい、体は健康に!

①ひじり野コース  
ふれあい交流館前 10時出発

②市街地コース  
総合体育館前 14時出発

参加される方は、出発時間までにご集合ください。※車手とゴミ袋を事務局で用意します。雨天時は中止します。

**ウォークラリー**

お買い物を楽しみながら健康づくり! 店内数カ所にあるスタンプを集めて、ここでしか手に入らない『かぐらっき〜オリジナルクリアファイル』を手に入れよう。

とき 10時~17時

ところ アルティモール東神楽店 ※農産(500円)がなくなり次第、イベントを終了します。

東神楽町チャレンジデー実行委員会  
(事務局: 東神楽町教育委員会地域の元気づくり課 電話 83-5407 FAX83-2606)

チャレンジデー PR 用チラシ (表面)

※主催イベントのつづき

**空き缶積み上げ**

チャレンジデーの全国共通イベントの『空き缶積み上げ』を町でも開催します。

とき 18時~20時30分

ところ 総合体育館

チーム 3~4名

ルールは簡単、360本の空き缶をいかに高く積み上げるか。お楽しみ日本記録にチャレンジ!

**体力測定会** (20~64歳の方)

握力、立ち幅踏み、上体起こし(腰筋)、長座体高屈、反復横跳びの5項目を測定します。(所要時間約20分)

とき 18時~20時30分

ところ 総合福祉会館

※参加される方は、上記時間内に、上靴をお持ちの上、動きやすい服装でお越しください。

**屋内体育施設の無料開放**

次の施設での個人利用について、使用料を無料としますので、ぜひご利用ください。

◎総合体育館  
アリーナ(1階) ※9時~18時  
アリーナ(2階) ※9時~18時  
トレーニングルーム ※9時~21時

◎ふれあい交流館  
第1アリーナ ※9時~21時  
第2アリーナ ※9時~18時  
トレーニングルーム ※9時~21時

**チャレンジデーの参加方法**

27日当日、15分以上の**運動**をします  
※個人・団体(学校、職場、サークル、ご家族)など、どなたでも、どんな運動でも!

**運動** ↓ **報告**

次のいずれかの方法でご報告ください

- ◎事務局に **電話** で報告 (☎: 0166-83-5407)
- ◎事務局に **ファックス** で報告 (FAX: 0166-83-2606)
- ◎**体育施設** に報告 ※これと総合体育館又はふれあい交流館事務局室前に設置の箱に参加報告用紙を投かんしてください。(用紙は施設にあります)

**報告先** 電話 83-5407 FAX 83-2606  
事務局 (地域の元気づくり課内)

**参加報告用紙** 個人用

お名前	電話番号	実施したスポーツ・運動

報告は、27日当日の**8時30分**から**21時30分**までの間にお願いします。

※ファックスで報告される場合、この用紙にご記入の上、このまま送付してください。

**団体用**

団体・グループ名	報告者	電話番号	参加人数	実施したスポーツ・運動

チャレンジデー PR 用チラシ (裏面)



スタンプを集めて健康ウォークラリー

# CHALLENGEDAY 2015

5/27 当日限定!

チャレンジデーは、日常的なスポーツの習慣化に向けたきっかけづくりやスポーツによる住民の健康づくり、地域の活性化を目的とした住民参加型イベントです。

『お買い物を楽しみながら健康に!』  
15分間のウォーキングの運動量は約1000歩、50kcalが消費されます。姿勢やフォームを改善することで「歩く」が「運動(エクササイズ)」に早変わりします。

この機会にぜひスタンプラリーにご参加ください。

**スタンプラリー in ALTIMALL 東神楽店**

私は、(東神楽町 旭川市 その他) ※該当する箇所を○で囲んでください。から参加しました。

“かぐらっき〜” 特製クリアファイル 差し上げます

チャレンジデー (※注意) gura

限定500枚先着順!! なくなり次第終了します。おらがためをください。

チャレンジデーの「のぼり」が目印!

1 東神楽町	2 旭川市	3 旭川市	4 旭川市	5 旭川市
--------	-------	-------	-------	-------

東神楽町チャレンジデー実行委員会  
(事務局: 東神楽町教育委員会地域の元気づくり課 電話 83-5407 FAX83-2606)

スタンプラリー

### 主催

美唄市チャレンジデー実行委員会 (委員長 高橋幹夫)  
教育委員会生涯学習課  
〒072-8660 北海道 美唄市西三条南 1-1-1  
美唄市役所  
TEL: 0126-62-3132 FAX: 0126-62-1088

### 結果

人口: 23,952人  
参加者数: 9,412人  
参加率: 39.3%  
取得メダル: 銀

北海道美唄市 ●  
VS  
愛知県大治町 ○

### プログラム (太字: 特に力を入れているプログラムと内容)

- ①ラジオ体操会 (中央公園) 75人
- ②リズムエクササイズ (総合体育館) 46人
- ③すこやかウォーキング (旭公園発~公園散策コース) 41人
- ④貯筋体操 (総合体育館) 23人

### 協力・連携

体育協会/スポーツ推進委員/スポーツ少年団/競技団体/総合型地域スポーツクラブ/幼稚園・保育園/小学校/中学校/高等学校/大学・専門学校/事業所・企業/商工会・青年会議所/自治会・町内会/高齢者団体/婦人会/障害者団体/社会福祉協議会/病院・診療所/高齢者施設/障害者施設

### メディア

プレス空知/北海道新聞

### 広報・周知

- ・各種団体の総会でのPRや企業・事業所を訪問し、協力を依頼しました。
- ・駅やスーパーなど人の集まる場所での参加の呼びかけ、聞き取り調査をしました。

### 製作物

チラシ 22,000枚/のぼり 30枚/横断幕・懸垂幕 20枚/独自制作ポスター 50枚/報告用紙回収BOX10個/独自制作横断幕 4枚

### 実施効果

参加者から「これまで休んでいた運動を復活できました」「体を動かすことは気持ち良い」「市で毎月27日を体を動かす日にしては」などの感想や意見が寄せられ、運動するきっかけになったのはもちろん、すでに実践している人も新たな目標達成に向け決意を深める1日となり、健康づくりへの意識が向上されたと思われます。

対戦形式のため、「チーム美唄」として地域の一体感が強まり、企業・事業所では職場のコミュニケーションが図られたと思われます。

また、対戦相手のまちを知る機会にもなり、今後交流が深まると思われまます。

### 担当者から

美唄市は初挑戦で、実施に向けての取り組みの遅れから市民への浸透が思うようにいきませんでした。参加者から「楽しかった」「こういった取り組みいいよね」という感想をいただき励みになりました。来年は早い時期から準備を進め、改善点などを洗い出しながら金メダルを目指してがんばります。



ラジオ体操



リズムエクササイズ



認定こども園ひまわり「サッカー」

「若見沢市民の方々も美唄市内でスポーツする機会があればぜひ協力を」。27日の水曜日にスポーツ参加を競うイベント「チャ

ぼくら-DEMO



「美唄」住民のスポーツへの参加率を、全国の人口規模に近い自治体同士で競うイベント「チャレンジデー」に、美唄市が初参加する。5月27日に全国130市町村で開かれ、美唄は人口約3万人の愛知大治町と対戦する。

対戦相手は愛知大治町で、自治体間でスポーツ参加率を競うもので、今年は今国130市町村で開催される。当日は午前0時から午後9時に15分以上運動した人の参加率で勝敗を決める。実行委では「オキ

開放、北海道日本ハムファイターズストリート体操なども予定。電話(フリーダイヤル)0800・8000・5344(夜)FAX(62・1088)で連絡するだけで参加できる。

「お店のPRも」イベントで割引、感謝、周年セールや行事など気軽に本紙にお寄せください。ただし、手書きでも印刷物でも問いませんが、ポスターなどは必須条件になります。

5月27日 美唄市民 運動で対戦

【美唄】住民のスポーツへの参加率を、全国の人口規模に近い自治体同士で競うイベント「チャレンジデー」に、美唄市が初参加する。5月27日に全国130市町村で開かれ、美唄は人口約3万人の愛知大治町と対戦する。

2015年3月14日 土曜日 北海道新聞

2015年5月16日 土曜日 プレス空知



テレビ電話で健闘を誓う両首長。画面左が高橋市長はじめ美唄市実行委

愛知県大治町長とTV電話で健闘誓う

【美唄】毎年5月の最終水曜日に世界中で住民のスポーツ参加を競う「チャレンジデー」。町制40周年を迎える愛知大治(お)町が初参入し、人口規模に劣る美唄市と対戦する。5月27日に全国130市町村で開かれ、美唄は人口約3万人の愛知大治町と対戦する。

【美唄】毎年5月の最終水曜日に世界中で住民のスポーツ参加を競う「チャレンジデー」。町制40周年を迎える愛知大治(お)町が初参入し、人口規模に劣る美唄市と対戦する。5月27日に全国130市町村で開かれ、美唄は人口約3万人の愛知大治町と対戦する。

2015年5月16日 土曜日 プレス空知

**主 催**

深川市チャレンジデー実行委員会 (実行委員長 山下貴史)  
深川市教育委員会 生涯学習スポーツ課 社会教育スポーツ係  
〒074-8650 北海道深川市二条17番17号  
深川市役所内

TEL : 0164-26-2343 FAX : 0164-22-8212

**結 果**

人 口 : 22,257 人  
参加者数 : 12,551 人  
参加率 : 56.4%  
取得メダル : 金

北海道深川市 ○  
VS  
埼玉県小鹿野町 ●

**プログラム (太字 : 特に力を入れているプログラムと内容)**

- ① **チャリンコ族の熱い夜!!! スーパーママチャリレース** (深川市陸上競技場) 887人
  - ・400mの陸上競技場を25週(10,000m)をママチャリで激走するチーム対抗戦
- ② **道の駅 de チャレンジ** (道の駅ライスランドふかがわ) 223人
- ③ **まだまだこれから…輝け! 還暦野球** (深川市民球場) 157人
- ④ **朝日を見よう 早朝ウォーク** (深川市内) 26人
- ⑤ **市場に集合! みんなでワクワク! ナイトウォーク** (深川卸売市場発着) 24人

**協力・連携**

体育協会/スポーツ推進委員/スポーツ少年団/競技団体/幼稚園・保育園/小学校/中学校/高等学校/大学・専門学校/事業所・企業/商工会・青年会議所/自治会・町内会/高齢者団体/婦人会/社会福祉協議会/病院・診療所/高齢者施設

**メディア**

北海道新聞/北空知新聞

**広報・周知**

報告方法の選択肢を増やす目的で、商店街振興組合やコンビニエンスストアの協力をいただき、参加報告ボックスを新たに設置したり、本番2週間前からはホームページをほぼ毎日更新するなど広報活動をしてきました。

**製作物**

チラシ 19,900枚/スタッフTシャツ 30枚/ポケットティッシュ 6,000個/タオル 250枚/横断幕・懸垂幕 7枚

**実施効果**

今年で9回目の挑戦となりましたチャレンジデーは、目標の参加率60%には届きませんでしたが、6年連続の金メダルの獲得、3年連続の勝利は大きな収穫です。

運動やスポーツの大切さを認識し、市民がこぞって体を動かす一日となり、チャレンジデーへの理解は定着しているものと考え

ております。

多くの町内会や事業所から取り組みに協力していただきました。そこに集うことで、会話や笑いが生まれ、交流が深まったと思います。

また、地域が自ら活動するコミュニティスポーツとして、このチャレンジデーはその役割を果たしている事業であると思います。



スーパーママチャリレース



多くの地域で行われたラジオ体操



道の駅 de チャレンジ

2015年4月25日 土曜日 北空知新聞

悲願達成へ気合十分の深川市

「チャレンジデー2015」開催まであと1カ月

気合十分！人垣から訪れる観光客も... 深川市は今年、例年より早稲作のトラ...



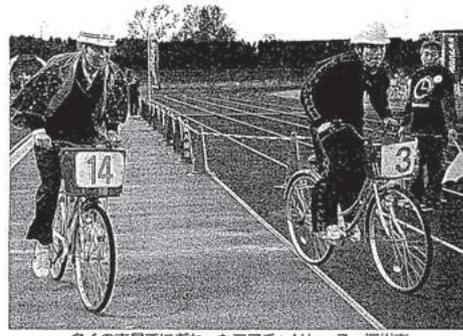
深川市所定の集まりの入り口には、多くの人垣が立ち並ぶ。

運動参加率競うチャレンジデー 27日

【深川】人口規模 毎年5月の最終水曜日... 深川市は今年、例年より早稲作のトラ...

運動参加「チャレンジデー」 深川市、3連勝飾る

【深川】住民の力で、対戦し埼玉小鹿野... 深川市は今年、例年より早稲作のトラ...



多くの市民でにぎわったママチャリレース＝深川市

2015年5月12日 火曜日 北海道新聞

2015年5月29日 金曜日 北海道新聞

悲願の60%超えで3連勝だ！

「チャレンジデー2015」

人口規模のほぼ同じ自治体、地域間十ヶ住民の... 深川市は今年、例年より早稲作のトラ...

【「チャレンジデー」は、昭和五... 深川市は今年、例年より早稲作のトラ...



毎年、熱気が盛り上げられる「ママチャリレース」は、深川市は今年、例年より早稲作のトラ...

2015年6月2日 水曜日 釧路新聞

### 主催

富良野市チャレンジデー実行委員会（実行委員長 野嶋重克）  
NPO 法人ふらの体育協会  
〒076-0038 北海道富良野市桂木町5-10  
TEL：0167-23-9666 FAX：0167-23-9667

### 結果

人口：23,278人  
参加者数：10,759人  
参加率：46.2%  
取得メダル：銀

北海道富良野市 ●  
VS  
神奈川県大井町 ○

### プログラム（太字：特に力を入れているプログラムと内容）

- ① NOカー通勤デー（個人ウォーキング含む）（市内各自）4,369人  
・徒歩・自転車により通勤・通学し、エコ活動＋スポーツ活動としてチャレンジデーに参加してもらいました。
- ②体験プログラム（スポーツセンターでの活動に参加）（スポーツセンター）381人
- ③ふらのちびっこ縄跳び大会（各保育所・幼稚園）93人
- ④ポスチュアウォーキング（スポーツセンター）36人
- ⑤みんなでウォーキング in ふらの（市内2カ所）28人

### 協力・連携

体育協会／スポーツ推進委員／スポーツ少年団／競技団体／総合型地域スポーツクラブ／民間フィットネスクラブ／幼稚園・保育園／小学校／中学校／高等学校／大学／専門学校／事業所・企業／商工会／青年会議所／自治会／町内会／高齢者団体／婦人会／障害者団体／社会福祉協議会／病院・診療所／高齢者施設／障害者施設／観光協会／FMラジオ局

### メディア

北海道新聞／FMラジオ「20秒コマーシャル」「ふらの情報サイト」「15分間の特別番組」

### 広報・周知

FMラジオは、市内事業所や観光スポット等でも放送されているので、市民のみでなく観光客への参加呼びかけにもなりました。

### 製作物

チラシ8,000枚／タオル300枚／屋外告知用大看板1枚／ポスター添付用シール200枚／縄跳び大会用表彰メダル10個／縄跳び大会用表彰状100枚

### 実施効果

5回目ということで年々、市民の認知度は向上していると考えます。また体験プログラムに参加するなどチャレンジデーをきっかけに継続して運動をするようになった方もたくさんおり、スポーツ・運動活動や健康づくりのきっかけになっていると思います。

### 担当者から

この時期は、様々な業務と重なるため、周知などの広報活動がなかなかできなくて大変でしたが、対戦相手として、いろいろな市町村の方と交流できるのが楽しみです。



みんなでウォーキング



ちびっこ縄跳び大会



色々なスポーツにチャレンジ

## 2015チャレンジデー

全国一斉開催スポーツイベント  
5月27日(水) 午前0時⇔午後9時

### 笑顔で運動、いい汗流そう、チャレンジデー

#### チャレンジデーって？

チャレンジデーとは、毎年5月の最終水曜日に市民が身体活動を通して、健康づくりや地域住民の連携強化など生涯スポーツの振興を図ることを目的とした、住民総参加型のスポーツイベントです。

内容は、人口規模がほぼ同じ市町村・地域間で、当日の午前0時から午後9時までの間に、15分以上なんらかの運動・スポーツをした方の参加率を競い合います。

#### どうやって参加するの？

年齢・性別を問わず、5月27日に市内にいる人であればどなたでも参加できます。自宅、スポーツ施設、河川敷など（場所は市内であればどこでもOK）、とにかく15分以上体を動かして報告すれば参加となります。散歩やストレッチなど自分の力でOKです。

富良野市チャレンジデー実行委員会（ふらの体育協会） ☎23-9666 ☎23-9667

#### 神奈川県大井町と対戦！

今年の対戦相手は、神奈川県大井町に決定しました。今年は、参加率50%超を目標に勝利へ向け、みなさんも家庭や学校、職場で運動をしましょう。

#### スポーツセンターに報告を

当日運動した方は、午後9時30分までにスポーツセンターに電話かFAXで報告してください。  
※報告は1人1回となります。

#### 企画プログラム

- ①NOカー通勤デー（個人・事業所向け）  
エコ+スポーツ活動として、会社や学校への徒歩・自転車 通勤の協力をお願いします。
- ②ふらのちびっこ縄跳び大会（保育所・幼稚園児対象）
- ③スポーツセンターで活動しているサークルに体験参加してみましよう。
- ④ポスチュアウォーキングなどのプログラムを実施



2015年4月下旬 「広報ふらの」5月号

ふらの体育協会  
主催事業の  
お知らせ

5月27日(水) 午前0時~午後9時 全国一斉開催!

みんなで参加! チャレンジデー2015 in ふらの



### スポーツのかで日本を元気に!

と き/5月27日(水) 0:00~21:00  
ところ/市内どこでも運動やスポーツ活動ができます  
(自宅・学校・職場・運動施設)

【問合せ】スポーツセンター TEL23-9666 FAX23-9667  
メール f1945ti@furano.ne.jp

参加  
無料

- ◇スポーツ活動の内容（通常のスポーツ活動はもちろん可）  
歩行や自動車での通勤、病院内散歩、ストレッチなども参加対象となります
- ◇スポーツセンターに報告を  
15分以上継続してスポーツ活動を行った方は、当日午後9時30分までにスポーツセンターへ報告ください(電話・FAX・メール)
- ◇企画プログラム  
その他ふらの独自の企画プログラムをご用意いたします  
詳細については、あらためてお知らせいたします

2015年4月下旬 「ま〜なび2015春号」



恒例となったポスチュアウォーキング

◆きょうスポーツチャレンジデー【富良野】全国各地の自治体が住民のスポーツ参加率を競う「チャレンジデー」(笹川スポーツ財団主催)が27日に開かれる。市も5年連続で参加し、住民の挑戦を呼び掛けている。今年の対戦相手は神奈川県大井町。  
道内では14市町が参加。午前0時~午後9時にスポーツ施設や職場、学校、自宅などで15分以上の運動をした人の割合で競う。市の昨年の参加率は47.4%で、兵庫県養父市を相手に初めて勝利した。ストレッチやリハビリ、散歩も可。スポーツセンターではウォーキングの体験教室なども開く。報告は午前8時~午後9時半に同センター☎23-9666へ。

2015年5月27日 水曜日  
北海道新聞

## 主 催

本別町チャレンジデー実行委員会（名誉実行委員長 高橋正夫）  
本別町教育委員会 社会教育課  
〒089-3334 北海道中川郡本別町北2丁目4-2 本別町体育館  
TEL：0156-22-2331 FAX：0156-22-3239

## 結 果

人 口：7,706人	北海道本別町	○
参加者数：5,174人	VS	
参加率：67.1%	秋田県小坂町	●
取得メダル：金		

## プログラム（太字：特に力を入れているプログラムと内容）

- ①おはようラジオ体操（役場正面玄関前）101人
- ②豪華景品！ディスコン大会（中央公民館）94人
  - ・ファイナルイベントとして、町民への周知普及を図る目的で、ニュースポーツ「ディスコン」大会を開催しました。子どもからお年寄りまで18チーム94名が集まり、チーム対抗戦を行いました。試合は予選を3チームリーグ戦で行い、勝ち上がった6チームで抽選をして対戦相手を決定し、決勝戦3試合を行い、得失点差で順位を確定しました。
  - ・当日の会場は熱気に包まれ、参加者は競技に熱中していました。
  - ・大会終了後にも、PTA関係などから道具の貸し出しや指導などの問い合わせがあり、手軽なスポーツとして住民への周知普及に貢献しました。
- ③ふまねっと・ガンバルーン体験会（地区公民館等3カ所）59人
- ④早朝ウォーキング（役場前駐車場）28人
- ⑤五剣山に登って義経山神社を目指そう！（義経山（五剣山））24人

## 協力・連携

体育協会／スポーツ推進委員／スポーツ少年団／幼稚園・保育園／小学校／中学校／高等学校／事業所・企業／商工会・青年会議所／自治会・町内会／高齢者団体／障害者団体／社会福祉協議会／高齢者施設／障害者施設

## メディア

十勝毎日新聞／北海道新聞／OCTV 帯広シティーケーブル「ビバ！本別 チャレンジデー特集」／FM WING「First Trax 朝のとかちめぐり」

## 広報・周知

- ・自治会連合会、老人クラブ連合会、在宅福祉ネットワーク総会など、多くの住民が集まる集会に参加し、チャレンジデーのPRと取り組み依頼をしました。
- ・町の広報紙では本紙5月号に4ページにわたりチャレンジデーの特集記事を掲載したほか、半月毎に発行される「かけはし」の「くらしのカレンダー」には「チャレンジデーまであと〇日」とカウントダウン記事を掲載しました。
- ・実行委員会立ち上げからマスコミと連携をとり、当日までの取

り組みを記事として掲載してもらいました。

- ・図書館で対戦相手自治体の紹介コーナーを設置し、普段体育館に足を運ばない住民にも興味をもってもらいました。
- ・広報紙に手づくりのチャレンジデーチラシを折り込み、全戸配布して住民への周知を図りました。チラシの内容は年々進化し、読みやすく分かりやすいものとなりました。今年はファイナルイベントの「ディスコン大会」も別刷りし総6ページのチラシとなりました。

## 製作物

チラシ4,000枚／ポケットティッシュ7,000個／地域連絡所用参加報告集計箱14個／対戦相手紹介コーナー（ディスプレイ）1個

## 実施効果

- ・実行委員会には、体育・スポーツ団体のみならず、自治会連合会、社会福祉協議会が加わり、相互の交流が醸成されました。また、実行委員会行事のほかに、各自治会では「ラジオ体操」「ゴミ拾いウォーキング」など、また、福祉団体は高齢者向けの教室など、独自の事業を開催したため、多くの町民が気軽に運動に取り組むきっかけづくりや高齢者の健康づくりができました。
- ・体育館やプールなどのスポーツ施設を無料開放したことにより、普段は利用していない住民に施設の良さをPRすることができました。
- ・スーパー3店舗で買い物ウォーキングを実施してチャレンジデーのPRに取り組み、主婦層を中心とした住民に「運動習慣の導入」を意識してもらうことができました。

## 担当者から

今回で5回目の実施となり、実行委員会の企画力や多くの団体の協力により、昨年を2.8ポイント上回る67.1%という参加率となりました。

ファイナルイベントの「ディスコン大会」により多くの方が参加してもらえるよう、通常のチラシに加え、大会のチラシを急遽追加作成し配布しました。準備時間が少なく、どれだけの申し込みがあるか不安でしたが、結果的には多くの参加者が集まり、会場も盛り上がったのでホッとしました。

事業の継続は町民の飽きなどによる参加率低下も懸念されますが、チャレンジデーは住民の運動習慣化へのきっかけづくりのみならず、自治会内の交流による独居老人の安否確認にも活用されると感じ、住民自治の意識向上や活性化等、様々な効果を期待し実施しています。



豪華景品！ディスコン大会

## 図書館にPRコーナー 本別 チャレンジデー参加促す

【本別】住民参加型のスポーツイベント「チャレンジデー」の20日、笹川スポーツ財団など主催に向け、町図書館にPRコーナーが設置された。多くの町民に参加しても



図書館に設置されたチャレンジデーのPRコーナー

門書約20冊をまとめて陳列した。今年の対戦相手となる秋田県小坂町の概要も紹介している。同イベントは15分以上継続して運動したりスポーツを楽しんだりした人の参加率を競う。本別の参加は2011年から年連続。昨年は5081人が参加、参加率は64.3%で、金又タの基準61%（人口5000〇〇999人）を2年連続で超えた。

今年も早朝ウォーキングやラジオ体操、神尾山登山など実行委員主催イベントの他、パークゴルフやゲートボール、ミニバレーなどの各スポーツ団体主催の大会や体験会が計画されている。当日は体力増進センターや町民水泳プール、ふれあい多目的アリーナ、太陽の丘パークゴルフ場が一般開放される。（鈴木忠徳）

2015年5月16日 土曜日 十勝毎日新聞

## 本別町、今年のチャレンジデー 対戦相手は秋田・小坂町

【本別】自治体が住民のスポーツ参加率を競い合う「チャレンジデー」（笹川スポーツ財団主催）で、本別町の今年の対戦相手が秋田県小坂町に決まった。18日開かれた町チャレンジデー第1回実行委員会で発表された。



本別町チャレンジデー実行委員会の様子

15分以上運動をした住民の割合を競う。今年の開催日は5月27日、対戦相手の小坂町は人口5643人（2月1日現在）で、古くは鉱山で栄えた。本別町の参加は5回目。昨年の参加率は64.3%で2年連続の金賞を獲得した。実行委では、事業計画や予算案などを話し合った。（牧之段英樹）

2015年3月20日 金曜日 北海道新聞



ラジオ体操で元気よく体を動かす本別町の参加者

チャレンジデー 元気に管内4町参加  
人口の近い自治体同士が競う「チャレンジデー」2015は15分以上続けてスポーツに参

に行われ、十勝管内からは本別など4町が参加した。本別町の参加は5回目。相手は秋田県小坂町。町内では早朝からウォーキングや神尾山への登山的目掛けてディスクを投げ、コリスコンなど約30種のイベントが開かれた。役場前のラジオ体操には130人が参加し、元気よく体を動かした。町長は委の大会委員長は、チャレンジデーを、運動するきっかけにしたいと述べた。

2015年5月28日 木曜日 北海道新聞



おはようラジオ体操



ふまねっと・ガンバルーン体験会

## 主 催

幕別町チャレンジデー実行委員会 (実行委員長 飯田晴義)  
幕別町教育委員会生涯学習課  
〒 089-0604 北海道中川郡幕別町錦町 98 番地  
幕別町教育委員会内  
TEL : 0155-54-2006 FAX : 0155-54-4714

## 結 果

人 口 : 27,649 人  
参加者数 : 8,395 人  
参加率 : 30.4%  
取得メダル : 銅

北海道幕別町 ●  
VS  
兵庫県養父市 ○

## プログラム (太字 : 特に力を入れているプログラムと内容)

- ①パークゴルフ大会 (全町 4 か所で実施) 138 人  
・パークゴルフ発祥の地ということで、幕別町パークゴルフ協会が主体となって町内 4 か所で開催。
- ②空き缶積み上げ (農業者トレーニングセンター (アリーナ)) 94 人
- ③健康スポーツダンス (札内福祉センター (大集会室)) 30 人
- ④はじめてエアロビクス (札内スポーツセンター (武道場)) 24 人
- ⑤かんたんヨガ (札内スポーツセンター (武道場)) 21 人

## 協力・連携

体育協会／スポーツ推進委員／スポーツ少年団／競技団体／総合型地域スポーツクラブ／民間フィットネスクラブ／幼稚園・保育園／小学校／中学校／高等学校／事業所・企業／商工会・青年会議所／自治会・町内会／高齢者団体／社会福祉協議会／病院・診療所／高齢者施設／ゴルフ場

## メディア

十勝毎日新聞

## 広報・周知

- ・広報掲載 (3 ヶ月)、新聞折込みチラシ配布 (2 回) 及び公共施設・協力事業所等へのポスター掲示等により、前年より多くの人が参加しました。

## 製作物

チラシ約 50,000 枚／スタッフ T シャツ 40 枚／ポケットティッシュ 10,000 枚／のぼり 30 本／タオル 600 枚／横断幕・懸垂幕 10 枚／ポスター 100 枚

## 実施効果

2 回目の挑戦で今回も負けてしまいましたが、前回に比べ参加者数・参加率共に増加したことで着実に住民には浸透してきていると感じます。また、参加した方からは「良い取り組みなので、今後も継続してほしい。」といった声も聞かれ、担当者としては嬉しい限りです。

来年も、是非参加したいと思います。早い時期から取り組みを進め、悲願の初勝利と参加率 50%を目指します。

## 担当者から

5 月 15 日付の人事異動から最初のイベントがこのチャレンジデーでした。

当日まで時間もなく引継ぎ等がうまくいかない点もあり、課題が多く見られましたが、しっかりと精査し来年に向けて準備を進めていきたいと思っています。



空き缶積み上げ



はじめてエアロビクス



体の歪み解消エクササイズ

## 芽室、新得、本別勝利

### チャレンジデー幕別は惜敗

【幕別・芽室・新得・本別】同規模の自治体同士が、金、銀、銅のメダルが授与される（金メダルは入賞した対戦型イベント「チャレンジデー」で、十勝管内では参加した4町のうち、芽室、新得、本別がそれぞれ「金メダル」で対戦自治体に勝利した。

チャレンジデーは5月の最終水曜日に世界的に行われている。午前0時から午後9時に、15分以上継続して運動した参加者を競う。敗れた場合、相手自治体の旗を庁舎のメーンボールに1週間掲揚する。参加率によって、金、銀、銅のメダルが授与される（金メダルは入賞した対戦型イベント「チャレンジデー」で、十勝管内では参加した4町のうち、芽室、新得、本別がそれぞれ「金メダル」で対戦自治体に勝利した。

7回目の出場となった芽室は参加率64.3%で、対戦相手・北広島町（広島）の44.9%を大きく上回った。通算対戦成績を6勝1敗とし、金メダルも5年連続。実行委は「連続中だったことでも参加も促せたと思

新得（参加5回）は同63.7%で、57.2%の南大隅町（鹿児島）に勝利。通算成績も勝つ敗に。本別（同）は同67.1%で、対戦した上坂町（秋田）の62%を上回り、昨年のリベンジを果たした。

2015年5月28日 木曜日 十勝毎日新聞

**予告**

**住民総参加型スポーツイベント**

# 幕別町チャレンジデー 2015

兵庫県  
今年も... **幕別町 vs 養父市**

## 5月27日水

開催決定!

「チャレンジデー」って？

毎年5月の最終水曜日に全国で開催されている住民総参加型のスポーツイベントです。人口規模がほぼ同じ市町村同士が、午前0時から午後9時までの間に、15分以上運動をした住民の「参加率（%）」を競い合います。

参加できる人は？

幕別町内にいる方であれば、どなたでも参加できます。町外から通勤・通学している方や観光客の方なども参加できます。

運動する場所はどこ？

自宅、学校、職場など幕別町内であればどこでもOK!

どうやって参加するの？

当日、午後9時までの間に運動した方の名前またはグループの代表者名と人数を電話やFAX、Eメール、町内各所に設置予定の回収ボックスに入れて報告します。

今年も老若男女が楽しめるスポーツイベントを企画！参加方法やイベントなどの詳細は、広報5月号や町ホームページでお知らせします。

空缶積み上げ  
2年連続町内の最高記録  
3m41cm02mm  
(全国10位)

トランロン

**対戦相手の兵庫県養父市ってどんなまち？**

●人	口 25,498人	養父市は、平成16年に兵庫県養父郡の八雲町・養父町・大屋町・関宮町の4町が合併して成立した市です。幕別町と同じ今年度で2回目の参加です。昨年は参加率30.8%でした。（幕別町は29.3%）
●面積	積 422.7㎦	

**応援事業所・団体を募集しています！**

チャレンジデーの趣旨に賛同し、PRをしていただける事業所・団体を募集しています。協力いただける事業所・団体には、チャレンジデーの「のぼり」を貸し出します。また、イベント会場、新聞折込チラシに、「応援事業所・団体」として掲載します。次の問い合わせ先までお申込ください。

【問い合わせ先】教育委員会生涯学習課社会体育係 (TEL 0155-54-2006)

2015年4月1日 水曜日  
「広報 まくべつ」4月号

**住民総参加型スポーツイベント**

# 幕別町チャレンジデー 2015

兵庫県  
今年も参加します！ **幕別町 vs 養父市**

## 5月27日水

みんなで15分以上  
スポーツをしよう!

いつでも、誰でも、どこでも  
気軽に参加できます!

チャレンジデーとは、毎年5月の最終水曜日に全国で開催されている住民総参加型のスポーツイベントです。人口規模がほぼ同じ市町村同士が、午前0時から午後9時までの間に、15分以上運動をした住民の「参加率（%）」を競い合います。

町内であれば、どこでも、誰でも参加できます。健康づくりのきっかけとして、家族や友達、職場の仲間と参加してみましょう!

**15分以上体を動かしましょう!**

皆さんからの報告で参加率を算計します。スポーツなど、15分以上継続して体を動かしたら事務局まで報告をお願いします。

**5/27** **チャレンジデー 特別イベントも開催!**

空缶積み上げ、ヨガ、ノルディックウォーキング、パークゴルフ大会など、どなたでも無理なく気軽に参加できるスポーツイベントを開催します。イベントの開催場所、時間などの詳細は折り込みチラシをご覧ください。

**15分以上  
継続すれば  
OK!**

- 犬の散歩
- 散歩やウォーキング
- ストレッチ
- ラジオ体操
- バレエやダンス、踊り
- 通勤、家賃の送り迎え、買い物などを徒歩や自転車で行った場合

**どうやって参加するの？**

当日、午前0時から午後9時までの間に運動をした方の名前またはグループ名と参加人数を電話やFAX、Eメールで報告するか、公共施設に設置する回収ボックスに報告用紙を入れて報告します。

**対象となる運動は？**

チャレンジデーに参加している気持ちがあればどんな運動も対象です。野球やサッカーなどのスポーツに限らず、体を動かすことならどんなことでも構いません。

2015年5月1日 金曜日  
「広報 まくべつ」5月号

**主 催**

芽室町チャレンジデー実行委員会 (実行委員長 宮西義憲)  
芽室町教育委員会 社会教育課  
〒082-0013 北海道河西郡芽室町東3条3丁目1番地  
芽室町中央公民館内  
TEL: 0155-62-9730 FAX: 0155-62-7037

**結 果**

人 口: 19,191人  
参加者数: 12,338人  
参加率: 64.3%  
取得メダル: 金

北海道芽室町 ○  
VS  
広島県北広島町 ●

**プログラム (太字: 特に力を入れているプログラムと内容)**

- ①ラジオ体操 (芽室町図書館前) 90人
  - ②ウォーキング (町内・東めむろ方面) 57人
  - ③ヨガ (芽室町中央公民館) 22人
  - ④ふまねっと (芽室町中央公民館) 18人
  - ⑤ゲートボール (芽室町健康プラザ (屋内ゲートボール場)) 16人
- ・実行委員会としてはいずれのプログラムについても偏ることなく周知を行ってきました。当町はゲートボール発祥の地であるのに、ゲートボール体験への参加者が少なかった点が少々残念です。

**協力・連携**

体育協会／スポーツ推進委員／スポーツ少年団／競技団体／幼稚園・保育園／小学校／中学校／高等学校／事業所・企業／商工会・青年会議所／自治会・町内会／高齢者団体／高齢者施設／障害者施設

**メディア**

十勝毎日新聞／NHK「ホットニュース北海道」

**広報・周知**

イベントが町民の間に浸透しつつあるとはいえ、若年層参加者の取り込みやチャレンジデーの対象となる運動種目やプログラム等を広く周知していく必要性を感じました。また、イベント実施に向けた取り組みに関してPRを兼ねて報道機関にタイムリーなかたちで情報提供を行うことでイベントの周知につながることから、実行委員会としての活動を広く発信していくことも効果的だと感じました。

**製作物**

ポケットティッシュ 9,000枚／新聞折込チラシ

**実施効果**

今回は7回目のチャレンジデー実施となり、町民にも少しずつイベントやプログラムが浸透しつつあり、町内会や高齢者学級のクラブ単位など、独自での運動・スポーツに関する取り組みを行う団体も出てきました。このような取り組みが少しずつ増えてい

くことを期待するとともに、どのようにして町や実行委員会が関与していけるか考える必要があると思います。

**担当者から**

今年度は、実行委員会の立ち上げが例年に比べ1ヵ月以上遅れたため、事前の準備やPR活動の取り組みに関して不安を抱いてのスタートとなりました。担当係にも人事異動などがあり、運営面でスムーズに進まない部分も予想されましたが、実行委員の協力もあり、目標としていた60%以上の参加率を達成することができました。実施後の実行委員会で挙げられた反省点や提案事項、町民から寄せられた意見等を来年度のチャレンジデーに活かせるよう取り組んでいきたいと考えています。



早朝ラジオ体操



ふまねっと体験



ズンバ体験

# 芽室は北広島町と

## チャレンジ 連勝懸け運動行事

【芽室】人口が同じ規模、今年も勝利を目指して町民の参加を呼び掛ける自治体が運動やスポーツをした住民の参加率を競う「チャレンジデー」が27日に開かれる。7回目の参加となる芽室町の対戦相手は広島県北広島町。2015年は勝ち続けており、実行委員会(貴田正博実行委員長)は連勝記録を伸ばすべく、ヨガやウォーキング(歩)体を動かせるイベントを企画している。



チャレンジデーは27日の午前0時~午後9時に行われ、1~15分を続けて運動することが条件。負けた町は勝った町の旗を飾らなければならぬ。

実行委では町民が気軽に体を動かせるように、11種類の運動ができるイベントを企画。ゲートボールやテニソン教室のほか、足ひれやシノーケルを付けた「シノーキング」やラテン系のダンスフィットネス「ZUMBA」の体験も行われる。

一部のイベントは、20日までの事前申し込みが必要。問い合わせは町教委スポーツ振興係(0155・62・9730)へ。

実行委企画のイベント以外で運動した場合は実行委への報告を呼び掛けている。中央民館1階の集計センターを訪問するか、総合体育館や役場などに報告用紙を提出する。電話(0155・62・2436)、0155・62・2437、0155・62・2438(0)でも受け付ける。

昨年の参加率は62・6%で、近年は60%を超えが、貴田実行委員長は「今年も60%を超え、勝利できるよ」と、多くの町民の参加を期待したいと話している。(深津慶太)

2015年5月18日 月曜日 十勝毎日新聞

# 運動参加で全国対戦

## 4町チャレンジデー 体操やウォーキング



青空の下、ウォーキングで汗を流す町民 (27日午前9時50分ごろ、芽室町東芽室で)

【芽室・本別・新得】自治体間で住民の参加率を競うスポーツイベント「チャレンジデー2015」(公財団法人笹川スポーツ財団)が主催。が27日午前0時、十勝管内4町でも始まった。それぞれの町が対戦相手の自治体に勝つと、ラジオ体操やウォーキング、ヨガなどのイベントを企画。個人やサークルで運動した場合は、各町の実行委員会に申告するよう呼び掛けている。

運動は同日午後9時までの高さで競った。幼稚園の15分以上継続することが保護者仲間に参加した高田(46)は「疲れたが、運動も対象とある。今年度はずっと参加して、来年は全国130自治体が参加して、管内4町は本別が兵庫、鹿野、新得、北広島、南大岡町、本別が秋田県小坂町と対戦する。

6連勝を狙う芽室では午前9時から、めろ町民歩会主催のウォーキングが行われ、参加者60人が町内を歩いた。町内の主婦赤塚佐和子さん(53)は「参加を機にウォーキングを続けられれば」と話した。

本別では実行委企画の特別イベントを開催。「空き缶積み上げ」(農業者トレーニングセンター)では出場全26チーム中、午前中は7チームが積み上げる缶

運動は同日午後9時までの高さで競った。幼稚園の15分以上継続することが保護者仲間に参加した高田(46)は「疲れたが、運動も対象とある。今年度はずっと参加して、来年は全国130自治体が参加して、管内4町は本別が兵庫、鹿野、新得、北広島、南大岡町、本別が秋田県小坂町と対戦する。

新得でも午前9時から保護センターなど3会場、3000人がラジオ体操に臨み、ボクサーイブなども開催された。

各町の実行委は「勝利のため、ぜひ運動したい」という申告をとり、参加者数は同日午後10時までに確定する。(深津慶太)

2015年5月27日 水曜日 十勝毎日新聞

# 芽室、新得、本別勝利

## チャレンジデー 幕別は惜敗

【幕別・芽室・新得・本別】同規模の自治体同士が27日、住民の運動参加率を競った対戦型イベント「チャレンジデー」で、十勝管内では参加した4町のうち、芽室、新得、本別がそれぞれ「金メダル」で対戦自治体に勝利した。

チャレンジデーは5月の最終水曜日に世界的に行われている。午前0時~午後9時に、15分以上継続して運動した参加率を競う。敗れた場合、相手自治体の旗などを片舎のメーンボールに「L」"として

7回目の出場となった芽室は参加率64・3%で、対戦相手・北広島町(広島)の44・9%を大きく上回った。通算対戦成績を6勝1上。

主権の笹川スポーツ財団によると、今年は今全国130カ所ですべて7万1720人が参加。平均参加率は52・7%だった。

新得(参加5回)は同63・7%で、57・2%の南大岡町(鹿児島)に勝利、通算成績も3勝2敗に。本別(同)は同67・1%で、対戦した小坂町(秋田)の62%を上回り、昨年のリベンジを果たした。

2回目の参加で初勝利を目指した幕別は同30・4%で、養父(やぶ)市(兵庫)に破れた。

2015年5月28日 木曜日 十勝毎日新聞

## 主 催

新郷村チャレンジデー実行委員会 (会長 須藤良美)  
新郷村総務課企画グループ  
〒039-1801 青森県三戸郡新郷村戸来  
TEL: 0178-78-2111 FAX: 0178-78-2118

## 結 果

人 口: 2,741 人  
参加者数: 3,206 人  
参加率: 117.0%  
取得メダル: 金

青森県新郷村 ○  
VS  
長野県南相木村 ●

## プログラム (太字: 特に力を入れているプログラムと内容)

- ①みんなでラジオ体操 & SNG45 (役場前イベント広場) 1,500 人  
・ 10 時、12 時、15 時に行われる「みんなでラジオ体操」の後、AKB48 の「恋するフォーチュンクッキー」の歌にあわせダンスを行いました。未就学児からお年寄りまで簡単に踊れるダンスのため、サビの部分を中心に来場者にレクチャーし、全員でダンスをしました。お手本として役場職員がダンスを練習し披露しました。
- ②間木ノ平グラウンドゴルフ場リニューアルオープン記念大会 (間木ノ平グリーンパーク) 150 人
- ③消防団玉落とし大会 (金ヶ沢農村公園川沿い) 110 人
- ④ナニヤドヤラの祭典 (役場前イベント広場) 100 人
- ⑤溪流釣り大会 (五戸川 (役場前周辺)) 60 人

### 【アスリート・著名人など】

ヴァンラーレ八戸 FC (JFL 所属 第 17 回 JFL ファーストステージ制覇)

## 協力・連携

体育協会 / スポーツ推進委員 / 競技団体 / 総合型地域スポーツクラブ / 幼稚園・保育園 / 小学校 / 中学校 / 高等学校 / 大学・専門学校 / 事業所・企業 / 商工会・青年会議所 / 自治会・町内会 / 高齢者団体 / 婦人会 / 社会福祉協議会 / 病院・診療所 / 高齢者施設 / 消防団

## メディア

デーリー東北 / 東奥日報 / 読売新聞 / ATV 青森テレビ「ひるおび」  
「わっち内ニュース」 / RAB 青森放送テレビ「ニュースレーダー」 / NHK「あっぷるワイド」

## 広報・周知

村外の団体や自治体へ周知するため、近隣の市町村へもチラシを配布し、PR しました。

お年寄りのための村内送迎バスを用意し、参加しやすい環境づくりをしました。その結果、お年寄りの参加者も増加し、村内の参加率アップにつながりました。

## 製作物

チラシ 2,000 枚 / スタッフ T シャツ 50 枚 / ボールペン 1,000 本

## 実施効果

村外の参加者から「来年もチャレンジデーに参加したい」「こんなイベントがあるとは知らなかった」「来年はもっとたくさん連れてきます」などの感想をいただき、新郷村に興味を持ったり、来村していただけるきっかけづくりとなりました。

村外の方と村民が交流するプログラムが多かったため、新しい交流が生まれたり、今まで以上に近隣市町村とのつながりが深くなりました。

## 担当者から

今年は日本一奪還を目標に村民がアイデアを出し合い、大きなものから小さなものまでさまざまなプログラムを実施しました。そのため、場所の確保やスタッフの配置等に変な苦労しました。

しかしながら、村民の参加率が増加したことが日本一受賞につながり、村民一人ひとりの頑張りが形となって大変良かったと思います。



みんなで元気に「ラジオ体操」



みんなで踊ろう！「恋するフォーチュンクッキー」

2015年5月28日 木曜日  
デーリー東北



チャレンジデー

## 住民のスポーツ参加率117% 新郷、日本一奪還

住民総参加型スポーツイベント「チャレンジデー」が27日、全国各地方で実施された。青森県南、岩手県北地方からは新郷村、田子町、軽米町の3町村が参加。多くの団体がスポーツで爽やかな汗を流し、充実した一日を過ごした。日本一奪還を合言葉に村を挙げて取り組んだ新郷村は、参加率117%で2位以下に大差をつけて全国トップに返り咲き、「新郷村」の誕生から60周年の節目に花を添えた。

### 村の誕生60周年に花

チャレンジデーは、川スポーツ協会の主催。人口がほぼ同じ市町村同士が対戦する形式で、午前9時から午後9時の間に15分以上運動した参加者の割合を競う。今年是全国130の自治体がエントリーした。新郷村は、13年連続で3位目の全国14位の101.2%から15.8%も上積み

し、長野県相模木村との対戦を制した。田子町は神奈川県川崎町、軽米町は山梨県南都町と争い、田子町は52.6%、軽米町は49.4%でそれぞれ敗れた。人口41人の新郷村は、ユニバーサルやナニヤラの祭典、ゲートボールなど多彩な企画を展開。住民が団結を促しつつ村外にも参加を呼び掛け、近隣市町村から学校や企業が応援に駆けつけた。

2015年5月28日 木曜日  
東奥日報

## 目指せ日本一奪還

### 新郷 伝統の盆踊り楽しむ

住民参加型のスポーツイベント「チャレンジデー」(主催・川スポーツ協会)が27日、新郷村の3町村を含む全国130の自治体で行われた。人口規模が似た自治体同士で対戦し、15分以上継続して運動した人が

飛び入り参加もあったナニヤドヤラの祭典＝新郷村

2012年から年間参加率全国1位だった新郷村は今回、長野県相模木村と対戦。午前6時から村役場で開会セレモニーを行い、須藤良美村長が「日本一奪還に向け、村民一丸となって頑張ろうと呼び掛けた。朝野球交流大会後切り、午後9時までラジオ体操やクラウドゴルフ、漢流釣り大会、ウオーキングなどを展開。巨大ヒニールの中に入れる「パブルボール」を使ったサッカーでは、日本フットボールリーグ(Fリーグ)のファンレハの選手も参戦。村民らと交流を深めた。また、ナニヤドヤラの祭典には村外の団体も参加し、住民とともに県南地方の伝統の盆踊りを楽しんだ。踊りの輪に飛び入り参加した新郷町の中野たか子さん(87)は「こんなに楽しいイベントは、去年も参加したい」と笑顔を見せた。(山崎光弘)

## 住民一丸汗、汗、汗

### チャレンジデー

## チャレンジデー参加率117.0% 新郷、日本一奪還

### 2年ぶり3度目

チャレンジデーの参加率日本一の報告を受け、喜ぶ村関係者

27日行われた住民参加型のスポーツイベント「チャレンジデー」で、新郷村の参加率が、全国130自治体中、最高の117.0%となり、2年ぶり3度目の日本一に輝いた。村は28日、主催者の川スポーツ協会東京から日本一確定の報告を受け、役所前で報告会を開催。村関係者は、合併して村が誕生して60年の節目に花を添えられたこと喜びに満ちた。(本紙取材班)

チャレンジデーは、15分以上継続して運動した人の割合を、人口規模が似た自治体同士で競うイベント。新郷村は長野県相模木村(人口1098人)と対戦。人口2741人に対して、村も含め306人が参加。前年を16ポイント上回り、93.9%の南相木村を抜いた。全体でも岡山県新井町の103.4%を抜き、2012年に続く3回目の日本一に輝いた。

報告会で村長は、一人の力と、村外からの参加者のおかげ、健康で元気な村づくりに生かして、「こう」と喜び、「この後、対戦相手の健闘をたえ、村役場に上り南相木村の村旗を掲げた。

藤崎町(同1万5906人)は、対戦相手の神奈川県川崎町(同1万6004人)の48.5%を上回った。7%で、13年連続の勝利。町生瀬学童園の小杉利彦園長は「勝利を喜び、健康づくりを意欲する住民が1人でも多くなれば」と話した。

田子町(同6143人)は60.3%人が参加し52.6%だったが、63.7%の同県鶴岡町(同865人)に及ばず。町実行委員会は「目標の参加率50%を越え、健康づくりへの意識が高まっている」と歓迎。また、次回こそ初勝利を奪還を誓った。

2015年5月29日 金曜日 東奥日報



ヴァンラーレ八戸の選手と

## 主 催

田子町チャレンジデー実行委員会 (委員長 山本晴美)  
田子町教育委員会 教育課  
〒 039-0201 青森県三戸郡田子町大字田子字柏木田 169  
田子町中央公民館  
TEL : 0179-20-7070 FAX : 0179-20-7075

## 結 果

人 口 : 6,143 人  
参加者数 : 3,233 人  
参加率 : 52.6%  
取得メダル : 銀

青森県田子町 ●  
VS  
神奈川県真鶴町 ○

## プログラム (太字 : 特に力を入れているプログラムと内容)

- ① オープニングセレモニー 町民一斉ラジオ体操 (メイン会場 : 田子町農業者トレーニングセンター その他 : 各集会施設) 776 人  
・ 町民や自治会が取り組みやすいプログラムのため、ラジオ体操の他にウォーキングなどを組み合わせて参加していただくよう企画しました。
- ② 町長と王子にチャレンジ (町内幼稚園・保育園) 213 人
- ③ サッカー教室 (田子小学校グラウンド) 31 人
- ④ 町民体力測定 (農業者トレーニングセンター) 27 人
- ⑤ ダンス教室 (中央公民館) 27 人

## 【アスリート・著名人など】

ヴァンラーレ八戸 FC (サッカー JFL リーグ)

## 協力・連携

体育協会 / スポーツ推進委員 / スポーツ少年団 / 総合型地域スポーツクラブ / 幼稚園・保育園 / 小学校 / 中学校 / 高等学校 / 事業所・企業 / 商工会・青年会議所 / 自治会・町内会 / 高齢者団体 / 社会福祉協議会 / 病院・診療所 / 高齢者施設 / 障害者施設

## メディア

東奥日報 / デーリー東北

## 広報・周知

チャレンジデーにもっと気軽に参加できるようにと、実行委員や町民の声を参考にチラシなどの周知広報を見直しました。その結果、イベントプログラムへの問い合わせが増えるなど、実施の手応えを感じました。

## 製作物

チラシ 6,000 枚 / ポケットティッシュ 3,000 個 / のぼり 80 本 (追加 20 本) / タオル 250 枚 / イベントプログラム看板 12 枚

## 実施効果

- ・ 個人参加の報告が増え、内容も工夫されてきています。町民の健康に対する意識が高まってきていると感じました。
- ・ 町とイベントプログラムに参加していただいたサッカークラブ

とはホームタウンの受け入れをしており、チャレンジデーをきっかけにたくさんの交流が図られました。

## 担当者から

実行委員会の他にも、様々な関係団体による周知活動のおかげで町民、自治会、事業所等へのチャレンジデーの理解が進み、独自の周知活動や、イベントの実施など積極的な参加が増えました。今回の目標達成という結果に、たくさんの声をいただいたので、次回の実施に活かしていきたいと思えます。



園児が勝利した「町長と王子にチャレンジ」



プロに指導していただいたサッカー教室



ストライキングエクササイズ講師と参加者

2015年4月30日 木曜日  
デーリー東北

**田子**  
5月27日に全国一斉に行われるチャレンジデー(全国スポーツ財団主催)を前に、参加率を競う田子町と神奈川真鶴町が27日、インターネット電話サービス「スカイプ」を使ってエール交換し、健闘を誓った。

**「スカイプ」でエール交換  
神奈川・真鶴町と健闘誓う**

山本町長は「参加率50%を目標に何とか勝利したい。今回の記録を大切に頑張りたい」と、宇賀町長は「初参加で難しいことが多いが、田子町さんからいろいろ教わって挑戦したい」と意欲を燃やしていた。

チャレンジデーはスポーツやレクリエーションなど体を動かすイベントを行い、同規模の自治体に参加率を競う。田子町は6,078人、真鶴町は7,865人。田子町ではラジオ体操やダンス、ノルディックウォーキング教室、ヒップホップダンス教室、小学生対象のサッカー教室などを企画している。(松本正人)



パソコンを見ながらリアルタイムでエール交換する田子町の山本晴美町長。左下のモニターは真鶴町の宇賀一章町長

**スポーツ交流「チャレンジデー」27日「激突」**

**住民「丸汗、汗」  
チャレンジデー**

たっこ王子と  
園児がダンス  
田子  
3度目の参加となった田子町は、神奈川真鶴町と

対戦。午前6時20分、町農業者トレーニングセンターで、山本晴美町長が「チャレンジデーを健康づくり、スポーツに親しみかけにしていこう。目標は参加率50%。町民みんなで初勝利を目指そう」とあいさつし、町民一斉ラジオ体操でスタートした。

田子幼稚園の園児は、南部町の名川幼稚園の園児とともに「町のゆるキャラたっこ王子」とダンスや障害物走で楽しく体を動かした。町民体力測定、ノルディックウォーキング、ダンス教室なども行われ、午後8時からの町民一斉盆踊りでイベントを締めくくった。(藤本雄大)



「たっこ王子」とダンスを踊る園児たち。田子町

2015年5月28日 木曜日 東奥日報

**住民のスポーツ参加率競う  
チャレンジデー2015**

**新郷、田子、軽米**

同じ人口規模の自治体同士で、住民のスポーツ参加率を競うイベント「チャレンジデー2015」が27日、全国130自治体で実施された。青森県南、岩手県北地方からは、新郷村、田子町、軽米町の3町村がエントリーし、子どもからお年寄りまで幅広い年代の人々がスポーツに親しんだ。

各町村では、ラジオ体操やウォーキング、ニュースポーツといった多彩な運動を企画。新郷村と田子町には、日本フットボールリーグ(J.F.L.)に参戦するヴァンラー

レ八戸の選手が参加し、サッカー教室などで子どもと触れ合った。

参加率117.0%で全国1位となり、3度目の「チャレンジデー大賞」を獲得した新郷村は、住民が一丸となってイベントに取り組んだ。近隣市町村からは、陸上自衛隊八戸駐屯地や八戸あおほ高等学院などの団体、学校、企業の「援軍」が駆け付け、村を後押しする応援の輪が広がった。

同村は28日、結果報告会を開き、関係者約50人が万歳をして日本一を祝った。

(松原一茂、松本正人、小嶋嘉文)

**老若男女  
爽やかな汗**



ヴァンラーレ八戸の新井山祥樹選手(右)と共に懸命にボールを追い掛ける子どもたち。田子町

2015年5月29日 金曜日  
デーリー東北

## 主 催

藤崎町チャレンジデー実行委員会 (実行委員長 平田博幸)  
藤崎町教育委員会 生涯学習課

〒 038-1214 青森県南津軽郡藤崎町大字常盤字三西田 35 番地 1  
常盤生涯学習文化会館

TEL : 0172-65-3100 FAX : 0172-65-3128

## 結 果

人 口 : 15,596 人 青森県藤崎町 ○  
参加者数 : 9,156 人 VS  
参加率 : 58.7% 神奈川県開成町 ●  
取得メダル : 金

## プログラム (太字 : 特に力を入れているプログラムと内容)

- ①グラウンド・ゴルフ大会 (ライフコート平川) 236 人
- ②藤崎チャレンジカップ (ユニカール・ペタンク・ソフトバレーボール) (スポーツプラザ藤崎) 116 人
- ③出張新・藤崎音頭教室 (特別養護老人ホームときわ) 80 人
- ④中央開会式 (いきいき健康体操・初心者向けヨガ) (スポーツプラザ藤崎) 80 人
- ⑤チャレンジウォーキング (スポーツプラザ藤崎) 62 人
  - ・体育館内に設置したコースを 15 分間歩き、その距離を競います。参加者の上位 5 名までを表彰しました。

## 協力・連携

体育協会／スポーツ推進委員／スポーツ少年団／競技団体／総合型地域スポーツクラブ／幼稚園・保育園／小学校／中学校／高等学校／事業所・企業／商工会・青年会議所／自治会・町内会／高齢者団体／婦人会／社会福祉協議会／高齢者施設／障害者施設／消防団

## メディア

東奥日報／陸奥新報／津軽新報

## 広報・周知

- ・早い時期から町広報誌によるチャレンジデー参加の呼びかけをしたり、各種イベント内容を周知するためのチラシを作成して各戸へ配布しました。
- ・住民への周知および参加協力を目的に、町内会長を参集してチャレンジデー説明会を開催しました。
- ・町内の団体・企業等へスタッフが訪問して、チャレンジデーへの参加を直接依頼しました。

## 製作物

チラシ 7,000 枚／スタッフ T シャツ 140 枚／ポケットティッシュ 1,000 枚／タオル 1,220 枚／横断幕・懸垂幕 1 枚／藤崎チャレンジカップトロフィー 9 個

## 実施効果

今回で 8 回目のチャレンジデー実施となりましたが、町民はもとより町外からの参加者も多数見られ、大変盛況でありました。

健康寿命を延ばすためにチャレンジデー当日のみならず、平日頃から運動やスポーツを行って健康・体力づくりの意識を高めてもらうために、「ふじさきスポーツチャレンジポイントラリー」がはじまりました。これは毎日の運動、または町主催のスポーツイベント等に参加することでポイントを貯めるという新しい試みです。

チャレンジデーへの参加が運動することの楽しさの発見につながり、日頃からの健康・体力づくりのきっかけに役立つことをあらためて実感しました。

## 担当者から

今回、新しい企画として「チャレンジウォーキング」と「チャレンジペアなわとび」を開催しました。いずれも 15 分間のチャレンジではありますが、参加者は上位入賞を目指して必死に競技に取り組んでいました。

参加者からは現在の体力を知ること、「来年は今年以上の成績を目指したいので、今から練習する！」といった非常に前向きな意見が多数聞かれました。

今回のチャレンジ企画を中心としたイベントを来年も実施し、より多くの方に参加していただきたいと思います。



みんなで初心者向けヨガ



己の限界まで！チャレンジウォーキング



## 主 催

奥州市チャレンジデー実行委員会 (会長 小沢昌記)  
奥州市協働まちづくり部 生涯学習スポーツ課 スポーツ振興係  
〒023-1192 岩手県奥州市江刺区大通り 1-8  
江刺総合支所

TEL : 0197-35-2111 FAX : 0197-35-7466

## 結 果

人 口 : 122,366 人  
参加者数 : 83,647 人  
参加率 : 68.4%  
取得メダル : 金

岩手県奥州市 ○  
VS  
山口県宇部市 ●

## プログラム (太字 : 特に力を入れているプログラムと内容)

- ①開始式 (各区) 800 人
- ②ふうせん送りでチャレンジ (各地区・事業所等) 1,900 人
  - ・ チャレンジデー奥州市共通イベントとして「ふうせん送りでチャレンジ」を実施しています。
  - ・ 10人一組でタイムを競います。(地区対抗、事業所対抗の2部門)
- ③おうしゅうチャレンジカップ (各小・中学校) 151 チーム
- ④胆沢区いきいきシニアスポーツ大会 (胆沢陸上競技場) 300 人
- ⑤買い物ウォーキング (市内 8 店舗)

## 協力・連携

体育協会／スポーツ推進委員／スポーツ少年団／競技団体／レクリエーション協会／総合型地域スポーツクラブ／民間フィットネスクラブ／幼稚園・保育園／小学校／中学校／高等学校／大学・専門学校／事業所・企業／商工会・青年会議所／自治会・町内会／高齢者団体／婦人会／障害者団体／社会福祉協議会／病院・診療所／高齢者施設／障害者施設

## メディア

胆江日日新聞／岩手日日新聞／奥州エフエム放送「チャレンジデー当日特別番組」／えさしわいわいネット「文字放送」

## 広報・周知

コミュニティエフエムとのタイアップ、スポーツ推進委員の活動の先々での PR、SNS を使って情報の拡散をすることによって、より多くの市民に周知することができました。

## 製作物

チラシ 45,000 枚／スタッフTシャツ 160 枚／ポケットティッシュ 7,000 枚／タオル 250 枚／日付シート 28 枚

## 実施効果

- ・ 参加率が 68.4%と昨年よりアップしていることで、チャレンジデーが定着してきていることを実感しました。
- ・ 「ふうせん送りでチャレンジ」への参加団体が増え、地域住民・職場等での交流の場を提供し、連帯感を高めることができました。

- ・ 各種団体の取り組みにスポーツ推進委員を派遣することにより、推進委員の活動を市民に周知することができました。
- ・ チャレンジデーの PR と併せて、「2016 いわて国体」の周知を図ることができました。
- ・ 各種団体等が自主的にイベントを計画するなど、チャレンジデーの定着をあらためて実感しています。

## 担当者から

「全市民週一運動」のきっかけづくりとして取り組んできたチャレンジデーは、今回で 7 回目の実施となりました。残念ながら、目標参加率 70%にはわずかに届きませんでした。2 年連続の勝利、4 年連続の金メダルの獲得は大きな収穫になったと思います。

また、市独自の共通イベントとして地区対抗、事業所対抗で実施している「ふうせん送りでチャレンジ」も、年々参加団体が増え、チャレンジデーが定着しつつある様子がうかがえました。

今後も、スポーツを通して地域コミュニティの活性化を図られる事業を目指して行きます。

市長は、「昨年より 2.9 ポイントアップの 68.4%。来年は 70% 越えを目指し、市民一丸となって取り組んでまいります。イベントを契機に、市民の健康増進を図れることを願います。ご参加された皆さん、ありがとうございました。」と広報おうしゅうでコメントしました。



おはようチャレンジ体操 (総合開始式)



ふうせん送りでチャレンジ (消防本部)



## 主 催

大槌町チャレンジデー実行委員会 (実行委員長 碓川 豊)  
大槌町教育委員会 生涯学習課  
〒 028-1121 岩手県上閉伊郡大槌町小鍬第 32 地割 126  
大槌町中央公民館  
TEL : 0193-42-3030 FAX : 0193-42-3031

## 結 果

人 口 : 12,543 人	岩手県大槌町	○
参加者数 : 6,653 人	VS	
参加率 : 53.0%	神奈川県山北町	●
取得メダル : 銀		

## プログラム (太字 : 特に力を入れているプログラムと内容)

全町民ラジオ体操 (全町内)

## 協力・連携

体育協会 / スポーツ推進委員 / スポーツ少年団 / 幼稚園・保育園 / 小学校 / 中学校 / 高等学校 / 事業所・企業 / 商工会・青年会議所 / 自治会・町内会 / 高齢者団体 / 婦人会 / 社会福祉協議会 / 病院・診療所

## メディア

エフエム岩手「釜石やっぺし FM」

## 広報・周知

- ・町広報の掲載と合わせて、全戸にチラシを配布しました。
- ・「おおつちさいがい FM」で折に触れお知らせしました。
- ・団体・事業所等にポスターとチラシを手渡しで配布しました。
- ・イベントでチラシを配布しました。

## 製作物

チラシ 10,500 枚 / タオル 800 枚

## 実施効果

- ・今回が 10 回目の実施ということもあり、住民にチャレンジデーが認知され、チャレンジデーに合わせた取り組みが、地域や仮設団地、事業所等に浸透してきています。具体的には全町ラジオ体操とウォーキング・レクリエーションや事業所内等での美化活動などを組み合わせ、体を動かす工夫をした取り組みが見られます。また、参加報告書の回収は地域で連携が取れており、参加報告しやすいシステムが定着しています。
- ・チャレンジデーに併せた役場内の他部署での健康づくり事業も継続して実施されています。

## 担当者から

- ・団体・事業所等にポスター掲示や参加のお願いをすると、快く対応いただき「相手はどこ、今年も参加するよ」といった声が多く聞かれました。チャレンジデーの認知度の高さを感じると

同時に、担当者として参加協力者の多いことを心強く感じました。

- ・全町民ラジオ体操に加えてグラウンド・ゴルフや卓球、バドミントン等をされる方、また、散歩・ウォーキングやストレッチ体操など、それぞれが体を動かす工夫をして、健康づくりにつなげるチャレンジデーになっていることを実感しました。



ふれあい交流会



城山ウォーキング



ファミリーバドミントン

住民総参加型スポーツイベント

「スポーツの力でみんなを元気」に！

声かけあって！

みんなで参加！

# チャレンジデー 2015

チャレンジデーは、  
地域住民の健康づくり・まちづくりを目的とした  
スポーツイベント。自治体同士が対戦し、住民の  
スポーツへの参加率を競い合います。

Let's Try  
15min



15分以上なら、  
どんなスポーツ  
でもOK！

チャレンジデーの魅力は気軽に  
参加できること。スポーツ  
施設はもちろん、遊園や学  
校、広場、自宅など、どこで  
もどんなスポーツでも、15分  
間以上続ければOKです。

## 全国 一斉開催！

5月27日 水

午前0時 ↔ 午後9時

対戦相手

やまきたまち

VS 山北町  
(神奈川県)

山北町(やまきたまち)

東京から西へ80キロメートル、神奈  
川県西部に位置し、北西部は山梨県に、  
南西部は静岡県に接し、町の約9割が  
丹沢大山国定公園や県立自然公園な  
どに指定されており、町の中央には雄  
大な富士山を背景にした「丹沢湖」、ま  
た、信玄の隠し湯と言われる「中川温泉  
郷」など美しい自然景観や水環境を大  
切にすることで発展を続けてきたまちで  
す。人口 11,370人(平成27年2月1日現在)  
実施回数 1回目

主催/大槌町チャレンジデー実行委員会  
TEL 42-3030 42-2300

問合せ先/大槌町教育委員会 生涯学習課  
FAX 42-3031

チャレンジデー PR用チラシ

## 主 催

軽米町チャレンジデー実行委員会 (会長 山本賢一)  
 軽米町教育委員会 生涯学習グループ  
 〒 028-6302 岩手県九戸郡軽米町大字軽米 10-85  
 軽米町役場 3 階 教育委員会事務局  
 TEL : 0195-46-4744 FAX : 0195-46-3050

## 結 果

人 口 : 9,955 人	岩手県軽米町 ●
参加者数 : 5,217 人	VS
参加率 : 52.4%	山梨県南部町 ○
取得メダル : 銀	

## プログラム (太字 : 特に力を入れているプログラムと内容)

- ①ゲートボール大会 (町営ゲートボール場) 116 人
- ②転倒予防セミナー (軽米町農村環境改善センター) 100 人
- ③ラジオ体操 (軽米町役場庁舎前) 87 人
  - ・朝 6 時に役場庁舎前に町民の皆さんに集まっていただき、ラジオ体操をすることで、1 日を気持ちよく始めてもらうとともに、チャレンジデーに対する意識を高めました。
  - ・また、町のゆるキャラを登場させて盛り上げることで、オープニングイベントとしての役割を果たしました。
- ④パークゴルフ大会 (ハートフルパークゴルフ場) 68 人
- ⑤ダンスパーティー (軽米町農村環境改善センター) 38 人

## 協力・連携

体育協会/スポーツ推進委員/スポーツ少年団/競技団体/幼稚園・保育園/小学校/中学校/高等学校/事業所・企業/商工会・青年会議所/自治会・町内会/高齢者団体/社会福祉協議会/病院・診療所/高齢者施設/障害者施設

## メディア

岩手日報

## 広報・周知

町内の掲示版・商店等へのポスターの掲示、町内各所へのぼりの設置、参加報告書兼用のチラシの全戸配布、町の広報紙での周知、町内の学校や事業所への参加依頼等、従来行ってきた広報活動に加え、今年から新たな取り組みとして、町のケーブルテレビでの事前告知放送、町ホームページでの参加の呼びかけ、町内のスーパー等への回収 BOX の設置、着ぐるみを利用した町内各地での参加呼びかけ等を行いました。その結果、僅かながらも昨年の参加率を上回れたことは成果の現れであると捉えています。

## 製作物

チラシ 4,500 枚/ポケットティッシュ 5,000 個

## 実施効果

当町のチャレンジデーの実施は今回で 10 回目となり、学校や

企業の積極的なイベント参加や、各競技団体の自主的なイベント開催が定着しており、町民の運動・健康に対する意識が高まっていると思われます。

## 担当者から

チャレンジデーをきっかけとして、多くの方が運動・スポーツを普段の生活に取り入れることができるようにと様々なイベント等を実施した結果、多くの人が参加し楽しい一日を過ごすことができました。今年度からの新しい試みも町民の皆さんから好評で、僅かながら参加率が上昇したことは成果ですが、思ったより個人参加者の報告数が伸びなかったことが来年度以降への課題です。



1 日の始まりはラジオ体操



親子で楽しく体操



みんなでウォーキング



# 地域一丸勝利へ全力

## 朝の運動 気分爽快 軽米

初めて実施されたラジオ体操で早朝から体を動かす町民＝軽米町

軽米町は参加率65%を目標に山梨県南部町と対戦した。早朝から夜まで、町内各地で体操やダンスなどの企画が催され、町民が体を動かす楽しさを味わった。10回目の参加となった今回は、初めて早朝のラジオ体操を実施。朝6時半から同町軽米の役場前に約100人の高齢者らが集まり、ラジオの声に合わせて体を伸ばしたりジャンプしたりした。参加した同町軽米の高田マリさん(76)は「大勢で体操するのは初めてで楽しかった。とても気持ちが良い」とすがすがしい笑顔をみせた。

同日は、雲谷川周辺のウォーキング行事やダンスパーティーなども開かれた。

2015年5月28日 木曜日 岩手日報



ゲートボール大会



芝桜に囲まれてパークゴルフ

## 主 催

北上市チャレンジデー実行委員会 (会長 高橋敏彦)  
保健福祉部健康増進課  
〒024-8501 岩手県北上市芳町 1-1  
TEL: 0197-64-2111 FAX: 0197-65-6039

## 結 果

人 口: 93,758 人	岩手県北上市	●
参加者数: 32,169 人	VS	
参加率: 34.3%	沖縄県石垣市	○
取得メダル: 銀		

## プログラム (太字: 特に力を入れているプログラムと内容)

- ①希望郷いわて国体 PR ダンス「わんこダンスキャラバン隊」(北上市立飯豊小学校ほか 11 会場) 2,560 人
  - ・いわて国体 500 日前イベントとして、着ぐるみのキャラクターが 3 班編成で、保育園・幼稚園・小学校・中学校・専門学校・企業等を訪問し、国体ダンスの「わんこダンス」を参加者とともに踊り、国体開催への機運を高めることを目指しました。
- ②グラウンド・ゴルフ (北上総合運動公園) 267 人
- ③ラジオ体操 (詩歌の森公園) 180 人
- ④パークゴルフ (北上わがパークゴルフ場) 60 人
- ⑤ウォーキング (詩歌の森公園) 59 人

## 【アスリート・著名人など】

阿部美早 (ボディフィットネス全日本チャンピオン (2014 年 8 月)・コナミススポーツクラブ北上所属)

## 協力・連携

体育協会／スポーツ推進委員／スポーツ少年団／競技団体／総合型地域スポーツクラブ／民間フィットネスクラブ／幼稚園・保育園／小学校／中学校／高等学校／大学・専門学校／事業所・企業／商工会・青年会議所／自治会・町内会／高齢者団体／婦人会／障害者団体／社会福祉協議会／病院・診療所

## メディア

岩手日報新聞／岩手日日新聞／朝日新聞／テレビ岩手「ニュースプラス 1 いわて」／北上ケーブルテレビ「マイタウンきたかみ」

## 広報・周知

5 月 8 日 (金) にチャレンジデー 2015 総決起集会を開催し、北上市に関係するアスリートによるトークショーやインターネットを使った石垣市長とのエール交換を行うことにより、報道機関にも取り上げてもらい、PR することができました。

## 製作物

チラシ 40,000 枚／スタッフ T シャツ 60 枚／ポケットティッシュ 4,000 個／のぼり 50 本／横断幕・懸垂幕 4 枚

## 実施効果

- ・市民の運動・スポーツに対する意識を高める良い機会となりました。
- ・「国体 500 日前イベント」としても取り組むことができ、来年に控えた国体の盛り上げにつながりました。
- ・石垣市と友好都市対戦することができ、刺激を受け、競争心を高める効果がありました。また、より一層、両市の友好交流の絆が深まったと思います。

## 担当者から

- ・4 回目の実施とは言っても、11 年ぶりであったためゼロからの取り組みとなり、全体に浸透させるのに苦労しました。
- ・平日のため団体・企業等の参加を心配しましたが、就業前や昼休みの時間を利用して、ゴミ拾いウォーキングを行い、環境美化にも貢献いただきました。
- ・石垣市の 47.5% に対し、北上市 34.3% と完敗しましたが、またやりたいという声があり、今回の反省を生かし、5 回目にチャレンジしたいと思います。



オープニングでのラジオ体操



国体キャラクターと一緒に「わんこダンス」



## 主催

葛巻町チャレンジデー実行委員会 (会長 鈴木重男)  
NPO 法人葛巻町体育協会  
〒028-5402 岩手県岩手郡葛巻町葛巻 8-33-2  
TEL: 0195-66-3607 FAX: 0195-68-7056

## 結果

人口: 6,853 人	岩手県葛巻町	●
参加者数: 4,688 人	VS	
参加率: 68.4%	北海道標津町	○
取得メダル: 金		

## プログラム (太字: 特に力を入れているプログラムと内容)

- ① チャレンジラジオ体操等 (各行政区 (35 自治会)) 1,800 人
  - ・ 町内 35 自治会でチャレンジラジオ体操、ウォーキング、ファミリーバレー、卓球、輪投げなど各地域に合ったプログラムを行いました。
- ② 軽スポーツ体験 (ほすなある、まちの駅、総合センター) 700 人
- ③ 町民まなびい学園総合開講式及び葛巻福祉大学 (社会体育館) 300 人
- ④ 中部 AB 地区チャレンジデースポーツ大会 (社会体育館) 150 人
- ⑤ チャレンジ体操・長縄跳び (役場前) 120 人

## 協力・連携

体育協会／スポーツ推進委員／競技団体／総合型地域スポーツクラブ／幼稚園・保育園／小学校／中学校／高等学校／事業所・企業／商工会・青年会議所／自治会・町内会／高齢者団体／婦人会／障害者団体／病院・診療所／高齢者施設／商工会

## メディア

岩手日報／くずまきテレビ「くずまきトピックス」

## 広報・周知

ポスターに対戦相手自治体名を入れ各自治会・学校・保育園・施設・事業所へ掲示、チラシの裏に当日のプログラムを載せ全戸配布、事業所・学校等へ参加のお願い文書を発送、前日と当日町内放送、くずまきテレビで CM を作成し放送など、あらゆる方法で周知しました。

## 製作物

チラシ 3,500 枚／スタッフ T シャツ 56 枚／ポケットティッシュ 6,000 個

## 実施効果

連続 21 回の実施によりチャレンジデー当日の 5 月最終水曜日が地区の世代間交流の場として定着してきています。

普段運動習慣のない人も各地区で行われるラジオ体操やイベントに参加するなど運動へのきっかけづくりとなっています。

## 担当者から

総合センターや道の駅等で行った軽スポーツ体験をはじめとするプログラムは天候にも恵まれ参加者が増えましたが、全体の参加率が下がってしまったので来年は各団体と連携を密に取り実施したいと思います。



各自治会のチャレンジラジオ体操



そばっち&ミルンちゃんと一緒にまなびい学園総合開講式

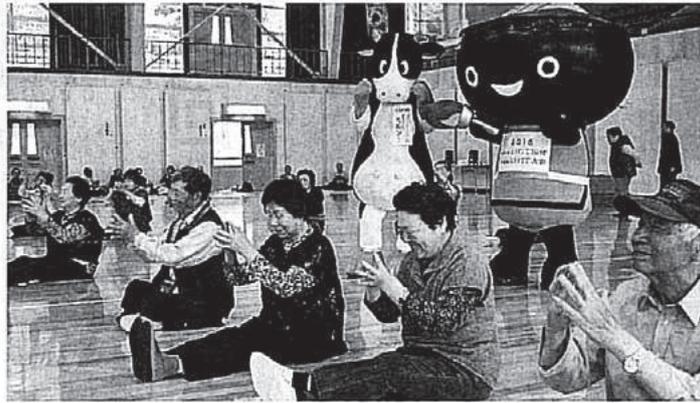


チャレンジスポーツ大会ファミリーバレー

人口規模がほぼ同じ全国の自治体や地区同士で住民のスポーツ参加率を競う「チャレンジデー2015」は27日、全国一

齊に開かれ、県北地域では軽米町と葛巻町が参加。両町の町民はわが地域の勝利を目指し、はつらつと運動に励んだ。

## 2町でチャレンジデー



ミルンちゃんらと一緒に手や指を使った運動を楽しむ町民＝葛巻町

# ゲームや 体操挑戦 葛巻

葛巻町は21年連続の参加で、今年も北海道標準津町が相手。早朝から町民がさまざまなスポーツで汗を流した。町は参加率75%を目標に、町内各地に特設会場を開設。スペシャルチャレンジとして昨年同様、北海道前町とも参加率を競った。

町社会体育館では、町民まなびい学園葛巻福祉大学が開講。お年寄りら約200人が、ラジオ体操や両手を異なる形に動かすゲームなどで楽しんだ。

町のPRキャラクター「ミルンちゃん」といわて団体マスコットキャラクターの「そぼち」も訪れ、参加者を応援。同町葛巻の田村カツ子さん(71)は「普段から体を動かすようにしている。今日も楽しくできた」と笑みを浮かべた。

2015年5月25日 月曜日 岩手日報

葛巻町と軽米町いずれも敗れる

チャレンジデー

全国の自治体同士が住民のスポーツ参加率を競った27日の「チャレンジデー2015」の結果が発表され、県北地域から参加した葛巻町と軽米町はいずれも敗れた。

葛巻町は参加率68・4%で、北海道標準津町の84・3%を下回り通算15勝10敗。スペシャルチャレンジとして対戦した北海道苫前町(57・4%)には勝利し、同チャレンジでは通算5勝4敗となった。

軽米町の参加率は52・4%。山梨県南部町の53・7%に僅差で敗れ、通算7勝3敗となった。

2015年5月29日 金曜日 岩手日報

## 主 催

陸前高田市チャレンジデー実行委員会 (会長 戸羽 太)

陸前高田市教育委員会 生涯学習課

〒 029-2292 岩手県陸前高田市高田町字鳴石 42-5

陸前高田市役所

TEL : 0192-54-2111 FAX : 0192-54-3888

## 結 果

人 口 : 20,366 人  
参加者数 : 14,898 人  
参加率 : 73.2%  
取得メダル : 金

岩手県陸前高田市 ○  
VS  
大分県豊後高田市 ●

## プログラム (太字 : 特に力を入れているプログラムと内容)

- ①市役所互助会体操 (市役所隣接地) 200 人
- ②玉入れ (総合型りくぜんたかた) (市内 8 ケ所 (事前周知)) 177 人
- ③開会式 (小友グラウンド) 125 人
  - ・ 毎年、市の地形を生かして、海側、山側と一年ごとに会場を交代しながら開会式を行っています。開会式該当地区のコミュニティー推進協議会から開会宣言等の協力を得て、市のイベントとしての位置付けを強めています。開会式では、各種宣言と恒例のラジオ体操 (第 1、第 2) に加え、ストレッチ体操などを全員で行っており、チャレンジデーのスタートとして定着しています。
- ④閉会式 (第一中学校体育館) 118 人
- ⑤ゲートボール大会 (スポーツドーム) 106 人

## 協力・連携

体育協会 / スポーツ推進委員 / スポーツ少年団 / 競技団体 / 総合型地域スポーツクラブ / 幼稚園 / 保育園 / 小学校 / 中学校 / 高等学校 / 事業所 / 企業 / 商工会 / 青年会議所 / 自治会 / 町内会 / 高齢者団体 / 婦人会 / 社会福祉協議会 / 高齢者施設 / 障害者施設

## メディア

東海新報 / 岩手日報 / 岩手めんこいテレビ「開会式ニュース」

## 広報・周知

例年通り自治会、保育所、幼稚園、学校及び商工会等を通じ各事業所に参加依頼 (参加者報告を兼ねたチラシ配布) を実施、また、復興事業に携わる県外の土木・建築業者の企業体も訪問するなど、各方面に協力依頼をしました。

## 製作物

チラシ 9,300 枚 / ポケットティッシュ 1,000 個 / のぼり 50 枚 / タオル 500 枚 / 横断幕・懸垂幕 2 枚 / ポスター 200 枚

## 実施効果

各自治会では、チャレンジデーの行事が定着しており、自分たちの市のイベントとしての意識が強く、地域の纏まりが強まって

います。市内の事業所、保育所、学校も同様で、中学校では事前にロープ・ジャンプ・X の練習も行っています。また、ゲートボールやグラウンド・ゴルフは、この日に市外からの参加ができる大会を開催して交流を図っています。さらに、復興事業に携わっている企業体の方々にも参加いただき、市との関わりを意識して頂ける機会となっています。

## 担当者から

開会式会場地区やのぼりを設置する場所の方々からの激励、地区や事業所からの参加行事内容の予定報告などを受けたときは、チャレンジデーを楽しみにしているのだなと思い、担当として頑張ろうという気になりました。一方で、参加地区ごとの温度差や当日の参加者の報告が遅い点など、まだまだ周知方法について検討が必要だと思っています。



今年もガンバ!! 気合をいれて



食後は身体のキレが悪いな～



さあ～、あと一步、頑張ろう